

特別支援クラスで「ようこそ先輩」授業

中学の特別支援クラスで「ようこそ先輩」 本当の卒業生（中学生の10歳上くらいの若者）が、働くこと、生きることについてお話してくれました。



講師になってくれた若者とは、「学校サポーター募集」の回覧板を見たとき連絡を下り出会いました。平日お仕事忙しい中、北部小、東小の運動会の準備・片付けや草取りを一緒にやってきました。

彼が育った特支クラスで、先輩として、アルバイトや派遣を経てその働きぶりから正社員として仕事をして、運転して、一人暮らしもして…というお話をしたいとお願いしたら快諾してくれて、有給を取って教室に来てくれました。

生徒たちからもたくさんの質問が出て、彼の明るい人柄、努力、考え方に大人も感動しました。

- ・自分の障害は性格、便利なものとして利用する（例えば多動なのは色々見つけることができる等）
  - ・真似をして覚える ・経験が次の道を作る
  - ・自分をそのまま出す
  - ・体力仕事は筋トレだと思ってやっている
  - ・どんな人と仕事をしたいか？ 明るい人
  - ・ミスはお客様の命取りになることもあるから絶対にしない
  - ・嫌になっても解消する方法をいくつかやって休まない
  - ・中学は勉強の訓練、友達と出会って遊ぶ場だから大切に
  - ・親孝行をしたい、人の役に立ちたい
- 等…本当に素敵な話をして下さりありがとうございました。



- （生徒の声）
- ・話を聞いて継続することが大事だと思った。
  - ・苦手なことを性格として利用するという発想がすごい。
  - ・体力がないので、自分も体力をつけたいと思った。
  - ・目標を「素の自分でいること」にしました。・自分の特性をよく知って今後の人生に色々チャレンジすることに感動した。

